

離職率は市町村保健師 6.5%、県保健師 4.1%
定年退職以外の退職者は、市町村 7割、県 6割

調査の概要

調査目的	県および市町村の保健師の離職状況や教育体制、定着確保対策を把握し今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	県および 54 市町村の統括保健師 55 名
調査時期	調査期間：令和5年6月6日～6月20日
調査方法	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収
回収状況	回収数：43名（県1名・市町村42名） 回収率：78.2%

調査結果のポイント

1. 回答者の属性

○回答のあった42市町村を人口規模別に見ると1万人～5万人未満が35.7%と最も多く、次いで5万人～10万人未満16.7%、1万人未満11.9%の順であった。

表1 市町村の人口規模別回収数

人口規模	回収数	割合	人口規模	回収数	割合
1万人未満	5	11.9%	30万人～35万人	0	0.0%
1万人～5万人未満	15	35.7%	35万人～40万人未満	0	0.0%
5万人～10万人未満	7	16.7%	40万人～45万人未満	1	2.4%
10万人～15万人未満	4	9.5%	45万人～50万人未満	2	4.8%
15万人～20万人未満	3	7.1%	50万人以上	2	4.8%
20万人～25万人未満	2	4.8%	不明（市町村名未記入）	0	0.0%
25万人～30人未満	1	2.4%	合計	42	100%

2. 令和4年4月1日現在、令和5年4月1日現在の保健師職員数

○令和5年4月1日現在の県職保健師数は211名、42市町村の合計は1,221名で、令和4年度に比べ、県は15名、市町村は3名の増員となっている。

○市町村保健師の令和4年度から5年度の増減は、増加が11市町村、減少が17市町村、増減なしが14市町村であった。減少している17市町村の減少者数は、1名が11市町村、2名が3市町村、3名が2市町村、5名が1市町村であった。

表2 令和4年度、令和5年度の保健師数及び増減

年度	県職保健師数(名)	市町村保健師数(名)	合計(名)
令和4年度	196	1,218	1,414
令和5年度	211	1,221	1,432
増減	15	3	18

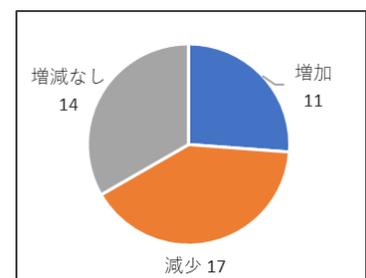


図1 市町村保健師の増減状況

3. 保健師の離職率と退職理由

○令和4年度に新規採用者を除く退職者があったのは31市町村（73.8%）79名、離職率は6.5%であった。退職者の内訳は、定年退職者が19名、定年退職以外が60名と定年退職以外の退職が76.0%を占めていた。

○県の退職者は8名、離職率は4.1%であった。退職者の内訳は定年退職3名と定年退職以外5名であった。

表3 令和4年4月1日～令和5年3月31日までの退職者の状況

	あり	割合 (%)	なし	割合 (%)	退職者数 (名)	離職率※
市町村 (n=42)	31	73.8%	11	26.2%	79	6.5%
県	1	-	-	-	8	4.1%

○定年退職以外の退職者の退職理由で最も多かったのは「転職・進学等」、次に「結婚・妊娠・出産・育児」、「健康上の理由」の順であった。

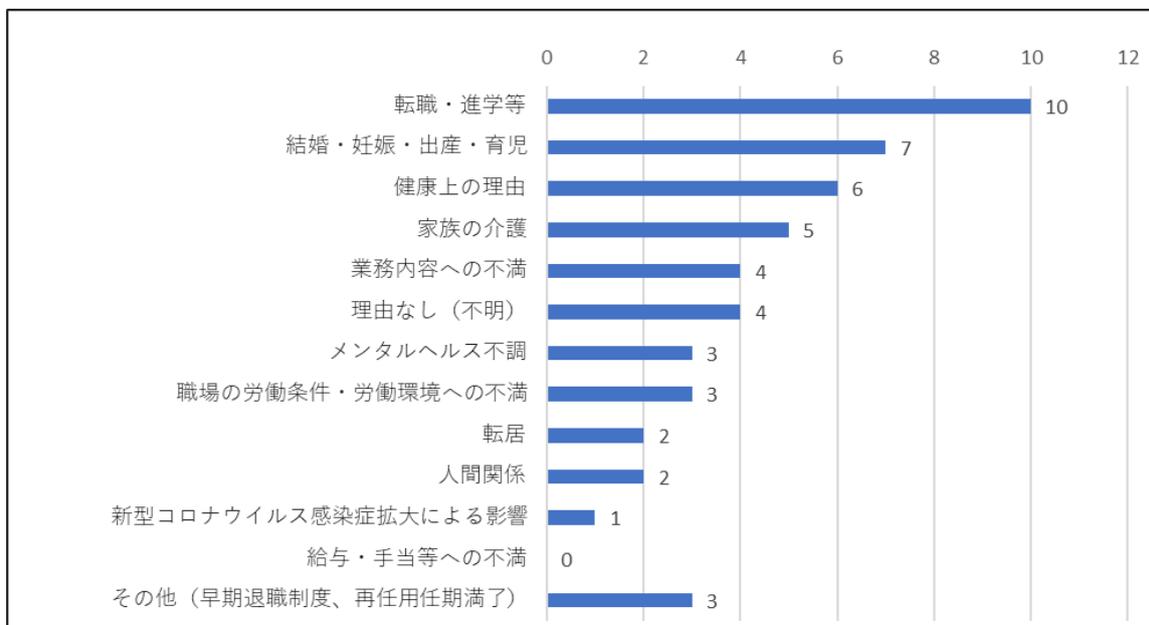


図2 定年退職以外の退職者の退職理由（複数回答）：人 県および市町村

4. 保健師の現任教育体制

- 教育責任者は、「配置されている」23市町村（54.8%）、「配置されていない」18市町村（42.9%）で、県は配置されている。
- 教育研修担当者は、「配置されている」28市町村（66.7%）、「配置されていない」13市町村（31.0%）で、県は配置されている。
- 教育研修体制について実施しているもの（複数回答）は、「外部研修の活用」40（93.0%）、次いで「内部研修の実施」32（74.4%）であった。自治体独自の「個別の研修プログラムの作成」や「キャリアラダーに沿った研修計画の立案」はほとんど行われていない。

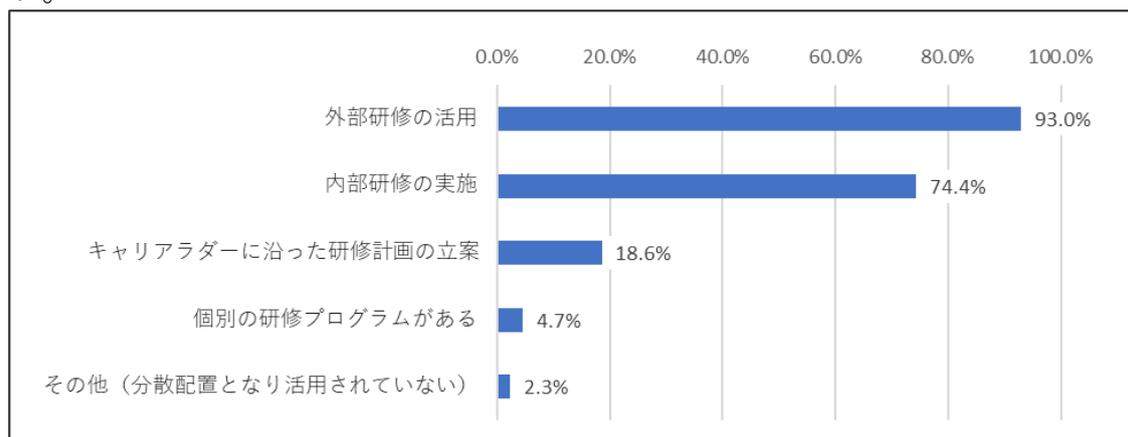


図3 教育研修体制について実施しているもの（複数回答）県および市町村

- 看護協会が実施する生涯教育研修への要望は、市町村 24（57.1%）および県からあり、その内容は「オンライン研修で受講できる研修を増やしてほしい」19（76.0%）「保健師を対象としたキャリアラダーに沿った研修を増やしてほしい」16（64.0%）であった。

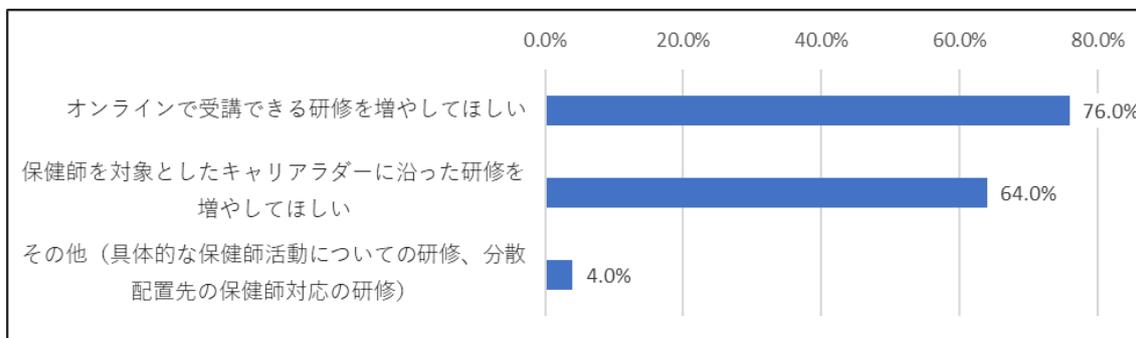


図4 看護協会が実施する生涯教育研修への要望（複数回答）県および市町村

5. メンタルヘルス相談体制

- メンタルヘルスに対する相談窓口の設置状況は、32市町村（76.2%）と県で設置されている。

表4 メンタルヘルスに対する相談窓口の設置状況

	あり	割合 (%)	なし	割合 (%)
市町村 (n=42)	32	76.2%	10	23.8%
県	1	-	-	-

6. 保健師の定着・確保に関する課題

○保健師の定着に関する課題と思われる項目（複数回答）については、「計画的な人材育成」が31（72.1%）と最も多く、次いで「育児・介護しやすい支援体制」22（51.2%）であった。

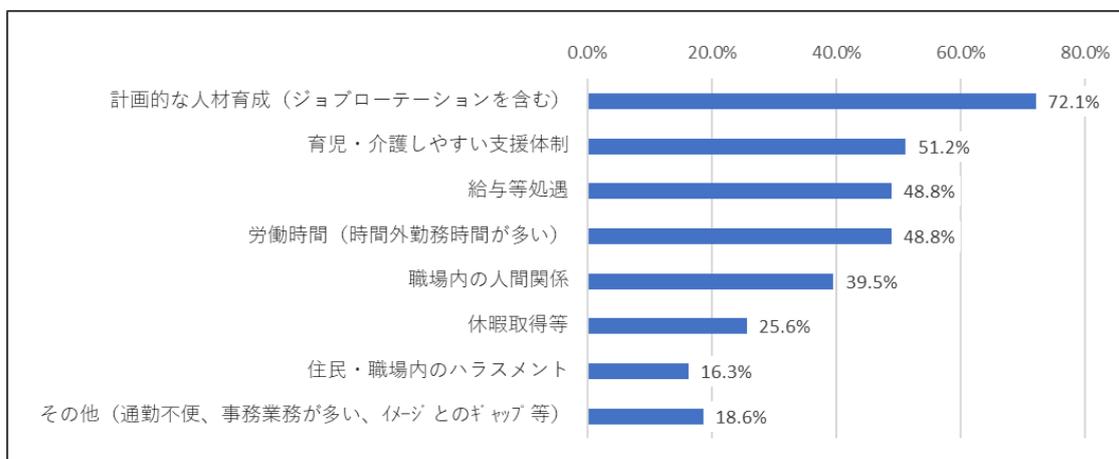


図5 保健師の定着に関する課題（複数回答）県および市町村

○保健師の確保に関する課題と思われる項目（複数回答）については、「計画的に採用できない」が31（72.1%）と最も多く、「募集しても応募がない」24（55.8%）であった。

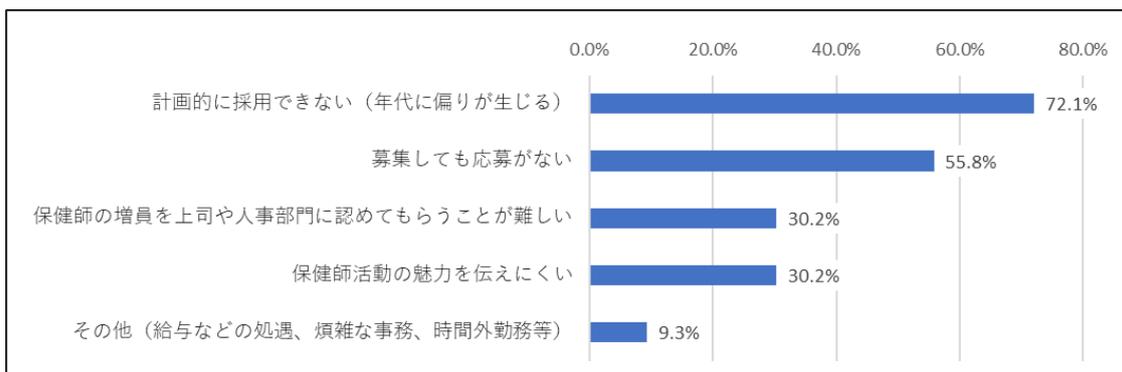


図6 保健師の確保に関する課題（複数回答）県および市町村